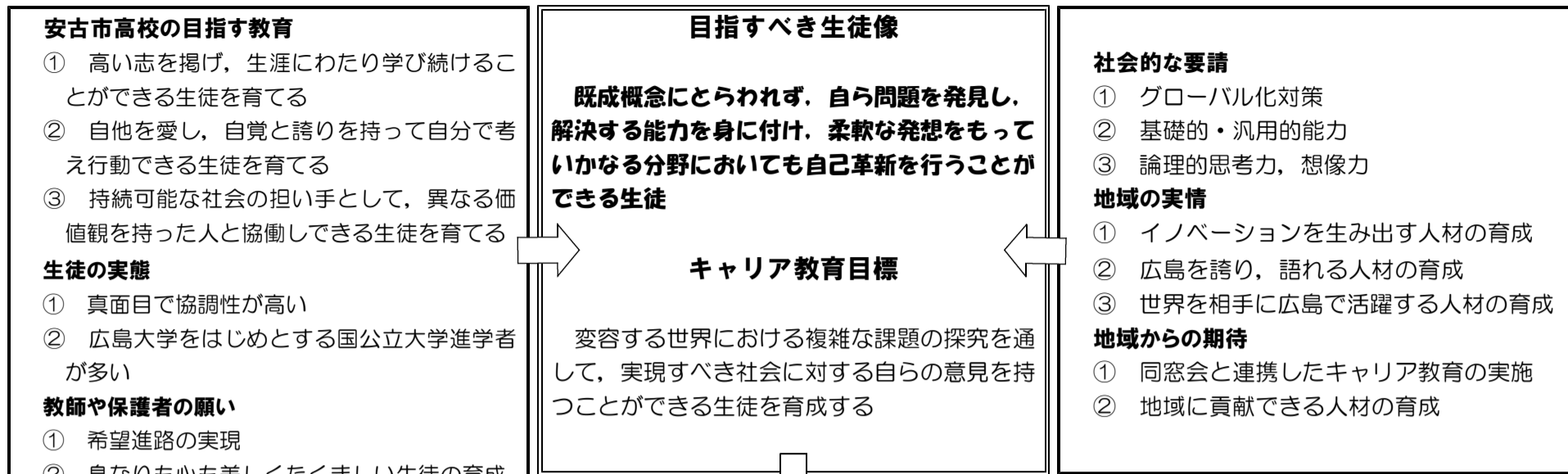


令和2年度 キャリア教育全体計画

校番51番 広島県立安古市高等学校 全日制課程 本校



各学年キャリア教育指導の重点目標		
1 学年	2 学年	3 学年
<p>重点目標：進路を探究する</p> <p>(1) 学習の基礎・基本となる学習習慣と学習スタイルを身に付ける</p> <p>(2) 学問や世界の変容に対する知識をもち、より高い進路目標を想定する</p> <p>(3) 興味・関心に応じて将来像「なりたい自分」を見出す努力をする</p>	<p>重点目標：進路目標を確立する</p> <p>(1) 自主的に学習計画を立て、実行する</p> <p>(2) 学習の基礎・基本を確立する</p> <p>(3) 進路目標を設定し、志望学部や学科群に必要な能力を確認する</p> <p>(4) 志望大学群を設定し、どのような学習が必要であるかを考えて計画し、実行する</p>	<p>重点目標：柔軟性をもって進路を実現する</p> <p>(1) 「生きる力」を礎に、学級や学年の仲間と切磋琢磨しながら、自己実現を図る</p> <p>(2) 設定した進路目標に対して、強い意志を持ち、受験生に求められる最大限の学習を行う</p> <p>(3) 現代の社会状況を把握し、進路志望を再設定し、変容する世界における就業・進学的心得等を身につける</p>
主な指導内容		
<p>① 自己を理解し、自分の将来像を考える</p> <p>② 学問や世界の変容に対する知識を持つ</p> <p>③ 文理選択を意識した進路学習を行う</p> <p>④ 学部・学科を研究し、その学部・学科に必要な能力を調べる</p> <p>⑤ 2年次における文理選択を行う</p>	<p>① 科目選択を意識した進路学習を行う</p> <p>② 修学旅行を活かした進路学習を展開する</p> <p>③ 将来の志望する進路先を想定する</p> <p>④ 複数の大学について研究し、実際の入試問題にあたる</p> <p>⑤ 希望進路先への志望理由書を作成する</p>	<p>① 世界の変容に対応するための能力とは何かを考える</p> <p>② 入試制度や受験のしくみ等を調査・確認する</p> <p>③ 「受験は団体戦」と認識し、クラスの雰囲気づくりに協力する</p> <p>④ 社会マナーや様々な状況に対応したコミュニケーション能力を身につける</p>

各領域における指導内容				
学年	教科	総合的な探究(学習)の時間	特別活動	分掌
<p>(1) 充実した学校生活支援</p> <p>① オリエンテーション合宿、ロングラン学習等</p> <p>(2) 保護者との連携の強化</p> <p>① 学年通信、学級通信、三者懇談会・懇親会等</p> <p>② ホームページによる情報公開</p> <p>(3) 生徒理解の深化</p> <p>① 綿密な個人面談の実施</p> <p>② 組織的なカウンセリングによるサポート体制の確立</p>	<p>(1) 論理的思考力表現力育成</p> <p>① 自発的学習態度を育成する教材課題の作成</p> <p>e.g. 組織的小論文指導、外国語科によるスピーチ指導、英字新聞作成指導</p> <p>② 計画的な学習課題の提示</p> <p>(2) 学習意欲の喚起</p> <p>① シラバスを活用した授業</p> <p>② 計画的な補習・補充指導の実施</p> <p>(3) 教科指導力の向上</p> <p>① アクティブラーニング型授業研究、外部指導者招聘の公開授業</p> <p>② 生徒授業評価アンケート等</p>	<p>(1) 判断し・解決する力の育成</p> <p>① 『パネルディスカッション』</p> <p>(2) 在り方、生き方の考察</p> <p>① 『大学研究』・『学部・学科調べ』</p> <p>② 同窓生を活用した進路講演会等</p> <p>(3) 地域活用型の学習総合化</p> <p>① 世代間交流(同窓生・PTA・教職員・実習生等)を活用した他世代理解や多様な視点の育成</p> <p>(4) 表現力・コミュニケーション能力の育成</p> <p>① 『ディベート』</p> <p>② 『ポスター発表会』</p>	<p>(1) 主体的な活動の支援</p> <p>① 生徒が創る文化祭による感動体験</p> <p>② 感性を養う諸生徒活動の実施</p> <p>③ オープンキャンパスへの参加</p> <p>(2) ボランティア活動の推進</p> <p>① 地域清掃等の社会貢献活動実施</p> <p>(3) 国際感覚・各種能力の伸長支援</p> <p>① オーストラリア短期留学</p> <p>② 外部の英語資格・検定試験への組織的な支援</p> <p>③ 校外各種コンクールへの参加</p> <p>④ 科学オリンピックへの参加</p>	<p>(1) 自己進路決定の支援</p> <p>① 多様な進路に対応した教育課程の開発</p> <p>② 進路意識高揚を図る外部講師授業や講演</p> <p>(2) 文武両道の支援</p> <p>① 学習や生活等の実態調査及び成績分析による課題の提示</p> <p>② 進路だよりを通して生徒・保護者への情報提供と啓発</p> <p>(3) 規範意識の育成</p> <p>① 挨拶指導の徹底</p> <p>② 心身ともに美しい生徒育成</p>

キャリア教育の評価方法	
アウトプット評価	アウトカム評価
<ul style="list-style-type: none"> 同窓生による進路講演会、および教育実習生による進路講演会を実施し、自己の振り返りをさせたか。 『大学研究』・『学部・学科調べ』の成果をまとめ、発表会を行ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 2度の進路講演会によって生徒の意識がどのように変容したかを、振り返りシートの分析から見取る。 『大学研究』・『学部・学科調べ』の活動を通して生徒の意識がどのように変容したかを、振り返りシートの分析から見取る。

改善策の検討方法
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年や総合的な探究(学習)の時間、特別活動、分掌における各取組を、それぞれの取組や内容の終了後に、アンケートや自己評価をもとにして課題を発見し、その取組の是非や改善すべき点を検討する。1月末までに、それに代わる取組や改善策を、学年会・分掌等から提案し、次年度の方向性をまとめる。 ○ 公開研究授業後の研究協議会や、年2回実施する授業改善アンケートの結果から、教科や個人で改善すべき点を検討する。